

## 調査の概要

### 1 趣旨・目的

学習指導要領において身に付けることが求められている基礎的・基本的な内容のうち、「読み・書き・算」等の基礎学力について、県内すべての公立小・中学校を対象に調査を実施し、県全体における定着度の状況を分析した上で、分析結果をまとめ、今後の個に応じたきめ細かな指導方法の改善・充実に資することを目的とする。

### 2 調査の対象学年、学級等

ア 県内すべての公立小学校第5学年，中学校第1，2学年の全学級の児童生徒を調査対象とした。ただし，複式学級を有する学校においては，履修していない内容を調査から除外して実施している。なお，小・中学校における特殊学級の児童生徒については，該当学年の学習内容を履修していない教科・内容を調査から除外して実施した。

イ 盲学校，聾学校及び肢体不自由者又は病弱者を教育する養護学校においては，該当学年の学習内容を履修している児童生徒を調査対象とした。

学校種	学年	実施校	実施児童生徒数
小学校	第5学年	580校	17,458人
中学校	第1学年	270校	17,304人
	第2学年	270校	17,615人

(小学校の調査対象校(594校)のうち，14校は第5学年に在籍者なし。)

\* 調査人数は，欠席等により各教科，設問によって異なる。(上記は最大値を示す。)

\* 意識調査は，調査実施学年のうち，各学校1学級を抽出して実施。

### 3 調査の内容

#### ア 学力調査

ペーパーテストにより，調査対象教科の「基礎・基本」の定着状況(当該学年の12月終了程度までを範囲とする)について調査。調査対象教科は以下のとおりである。

【小学校(小学部)】 第5学年・・・国語，社会，算数，理科

【中学校(中学部)】 第1，2学年・・・国語，社会，数学，理科，英語

#### イ 意識調査

・ 質問紙法により，児童生徒の学習に対する関心・意欲・態度等について調査した。

・ 学習全般にわたる質問事項と学力調査を実施する教科に関わる質問事項で構成した。

(意識調査は，調査実施学年のうち，各学校1学級を抽出して実施。)

### 4 調査の実施時間

ア 学力調査 小学校 45分(調査票の配布・説明等5分，調査時間40分)

中学校 50分(調査票の配布・説明等5分，調査時間45分)

イ 意識調査 小・中学校とも20分

### 5 調査の実施日

平成17年1月中旬

### 6 調査の採点及び結果の集計・分析

ア 各学校は，自校の児童生徒の調査について採点・集計を行い，当該市町村教育委員会へ報告する。自校の調査結果については，保護者に対して説明を行うとともに，今後の指導方法改善に生かす。

イ 各市町村教育委員会は，管下の学校の調査結果を集計し，県教育委員会へ報告する。自市町村の調査結果は保護者等に公表するとともに，基礎学力の定着への取組に生かす。

ウ 県教育委員会は，調査結果を集計・分析し，県全体(各地区等)の調査結果について公表するとともに，指導方法の工夫改善の参考となる資料を作成し，県総合教育センターのホームページに掲載する等，各学校の基礎学力定着への取組を支援する。